

「性虐待被害者のための祈りと償いの日」教皇の意向

1. 教会のメンバーによって、また家庭や教育現場において行われた、子どもへの性虐待の罪について、神からのゆるしを願うこと。
2. これらの重大な犯罪が、教会のメンバーによって行われたことを公に認めること。
3. 教会の権威者たちが、虐待の加害者を秘匿し、被害者の痛みを無視した罪について、神のゆるしを願うこと。
4. 被害者のケアをする責任は、教会のメンバーとしてすべての人におよぶことを、皆が認識できるよう恵みを願うこと。
5. 被害者とその家族のために神のいやしと支えを願い、教会がその人々の内的いやしと和解の歩みに有効に寄り添うことができるよう祈ること。
6. 虐待の被害者から何らかの反応があった場合、特別な司牧的な配慮をもってすぐに応えるようにすること。

共同祈願例文

(カトリック中央協議会「子どもと女性の権利擁護のためのデスク」作成 リーフレット 参照)

- いつくしみの主である神よ、教会に集う私たちが、被害に遭われた方の痛みに寄り添い、共に癒しの道を歩めるよう導いてください。
- 加害者が謙虚にその過ちを認め、被害に遭われた方とその家族に誠実に謝罪することができるよう、光と力をお与えください。
- 仕えるために来られたキリストに従い、人々への奉仕の道を歩むことを選んだ聖職者たちが、その使命を全うすることができるよう導いてください。
- 神の民である私たちが良心に目覚め、弱い立場におかれている子どもや大人を守り、連帯し、キリストの福音を告げる使命を全うすることができますように。
- 司教、司祭、修道者、信徒すべてが、キリストに結ばれた共同体として、互いの尊敬のうちに歩んでいくことができますように。

教皇庁未成年者保護委員会 性虐待被害者のための祈り II (子どもと女性の権利擁護部門 意訳)

天の父よ、あなたは、すべての子どもたち、とりわけ最も小さく、弱い立場におかれた子どもたちを愛し、心にかけておられます。

性的虐待によって、信頼と純真な心を傷つけられた多くの子どもたち、そして弱い立場におかれた成人の方々を、あなたの豊かな慈しみによっておまもりください。

私たちが、傷つけられた多くの苦痛の叫びに耳を傾け、責任ある行動をとっていくことができるよう支えてください。

被害を受けた方が、身近な人々や家族からの理解と支えを見出し、また、あなたの恵みと慈しみによって癒やされ、平安のうちに歩むことができますように。

わたしたちの主、イエス・キリストによって。アーメン。